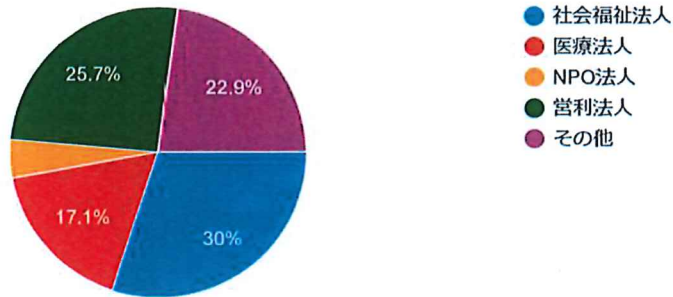


「11/26 介護支援専門員スキルアップセミナー」

アンケート集計

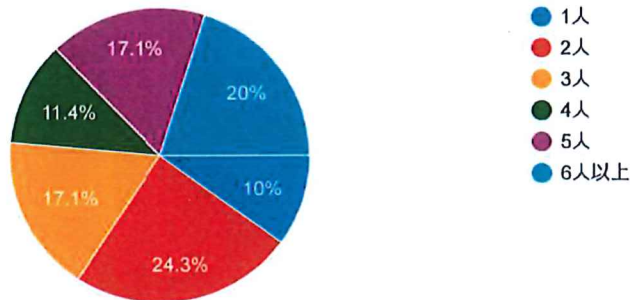
勤務されている事業所の法人格を教えてください

70件の回答



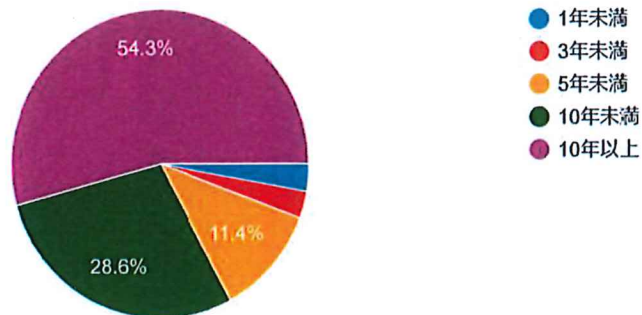
事業所のケアマネの人数を教えてください

70件の回答



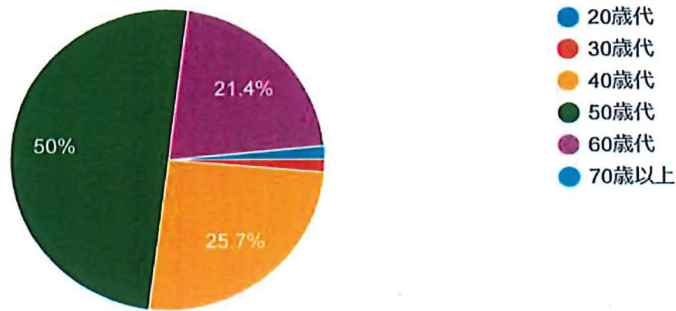
ケアマネの経験年数を教えてください

70件の回答



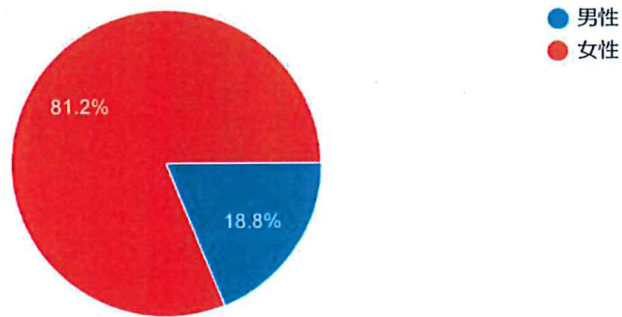
あなたの年代を教えてください

70件の回答



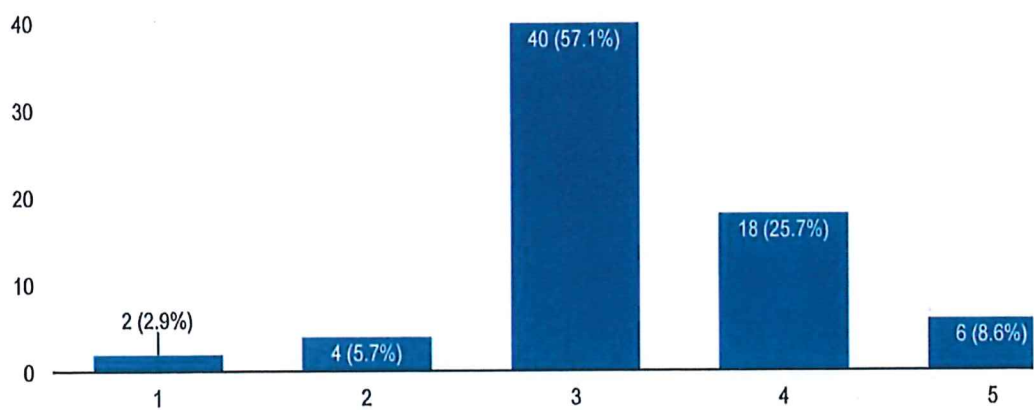
あなたの性別は？

69件の回答



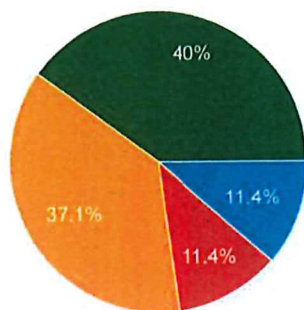
本日のセミナーの満足度を教えてください

70件の回答



テレワークの状況について教えてください。

70件の回答



- 現在テレワークを行っている。
- テレワークを行うため準備中である。
- テレワークを行う予定はない（必要がない）
- テレワークの環境が整備できない。行うには問題がある。

テレワークを行なうために問題がある場合、妨げとなっていることを教えてください

- ・セキュリティ面の問題がある
- ・法人の方針
- ・経済的なこと
- ・介護現場と兼務のため
- ・会社の理解と通信環境を整える費用
- ・介護ソフトの準備が遅れている。
- ・ネット環境が整っていない
- ・自宅のパソコンのスペック
- ・通信環境・機器をそろえる必要がある。
- ・クラウド式のソフトに変えたので、環境は整いましたが、感染対策をとりながら、通常の業務をしており、テレワークに切り替えてはしません。
- ・医療法人であるため、現場意識が強い。福祉部門は肩身が狭く、テレワークどころではない。話にも上がらない。
- ・緊急事態宣言下において、一時的にテレワークを実施いたしました。現在は通常業務としています。感染対策という点でのテレワークとしましたが、様々な課題はあるにせよ、これからのケアマネの働き方改革につながるようにも思います。ケアマネ自身が今の働き方がベストと思わず、未来をみながら創造的にやれるかという課題があるように思います。
- ・自宅のPCではソフトの利用が出来ないので記録の記載が困難な為。仮に行っても記録を記入できないので記入漏れなど不備が出てくる。FAXの送受信も困る。
- ・一人事業所なので、テレワークの必要は無いので、今後も行わないが、以前、数人の事務所の際に、行おうとしたときは、スタッフの感染予防に関しての意識の低さと、自宅だと寂しいと事務所に来たがるのが、妨げになった。
- ・モニタリング（訪問）の実施。サービス担当者会議をリモートで行うにあたり利用者宅に機器が整備されていない。経営者が勤務状況、就業内容を把握できない。
- ・個人情報の管理。勤務管理等
- ・個人情報を持ち帰る事出来ない。パソコン準備する費用がない。ソフトが家のパソコンに入っていない
- ・PCを自宅で使用できる環境はありますが、基本の業務は訪問し、各事業所と調整ですので難しいです。
- ・ご質問の「テレワーク」とは、コロナ禍での在宅勤務を想定して尋ねておられるのでしょうか？ すみません。
- ・サ高住の併設のケアマネのため、緊急時の受診や対応などがあるため。
- ・テレワークの環境は整ってはいるが、現在の業務内容ではテレワークは難しい

ペーパーレスにむけてのアイデアがあれば教えてください

- ・IT端末の準備並びに操作方法の理解。
- ・ラインワークスが便利です
- ・データ管理に不安がある、書類をスキャンして保存しているが、大丈夫か？といつも思います。
- ・提供票のコピー
- ・全体的にケアマネジャーの高齢化が進んでおり(結構深刻です)、機器操作等が覚えられずにスムーズにいかない。新しい事の受け入れが難しいため、ペーパーレスにするなら神戸市全体で行って欲しい。ソフトを同じにするとか、様式とか。窓口が神戸市になるように。
- ・紙ベースでの保存、書類をメール化する
- ・携帯電話の明細も紙でもらおうとすると有料になっていますので、紙だと有料とするとペーパーレスが進むのかなと思ったりすることはあります。
- ・利用票にかんして、自分は、印鑑を押してもらっていないので、交付だけ行っている。ただ、作成の際に、PDFにして保存はしている。利用票交付の際に、説明して変更がないことや、変更があった場合は、そこでの訂正と支援経過に記載するようにはしている。FAXで送られてきている書類も、データで確認して、データのまま保管しているので、印刷はしていない。支援経過・モニタリングも介護ソフトに打ち込んでいないが、印刷はしていない。ソフトがPDF機能があるので、提供票も印刷せずにPDFにしてメールに添付か、印刷せずにFAX送信にしているので、紙の提供票は無い。利用票を確実に利用者が受け取ったという証拠と言われると、困ってしまうと今日の研修で感じた。
- ・改正の度に書類が増えている印象です。現場のケアマネジャーが適切なケアマネジメントを行っているかどうか確認するための書類だと理解していますが、ずっと机の前で仕事をしていなければならない程の量になっております。書類を整えることに躍起になるより、利用者様宅に行き、相談対応する時間が大切だと感じる日々です。
- ・書類の数を減らす。
 - ・FINE LINKの活用、神戸市・事業所とのやり取りをオンラインでできるようにして欲しい。
 - ・FAXでの情報共有は誤送信もあり問題がある。この時代、良い方法があると思うが…。
- ・色々な書類、廃止して良い物もあるのでは…
- ・経過記録を書いて、モニタリングシートを書くなど同じような内容を何度も書くことになるので、簡略化してほしい。
- ・事業所全員がタブレットを持ち、計画書はそこにサインをしてもらおう。提供票はPCから送付できるシステムが必要。
- ・ペーパーレスはこの度の「LIFEシステム」導入を見れば、本腰を入れて国ベースで予算配分をすれば解決できることと理解しております。しっかりと現場調査を行い、今回の質問にも表れていた書面作成で「重複する」作業や提出先を整理し、システムベンダーと国保連、厚労省・自治体が一丸となって取り組みれば必ず前進すると思います。「ペーパーレス」を目指すというより、システム見直しによる省力化、効率化を国全体の規模で実行することが求められていると思います。また、このことは広くサービス事業所の業務の効率化、省力化に確実につながることと思います。
- ・書類の簡素化ができないか考えていきたい
- ・事業所からのモニタリング表 メールでのやり取りで管理したい。利用表、提供表、実績等タブレット等で行えるようにしてほしい。
- ・ケアマネがパソコン操作に長ける必要があると思う。
- ・タブレット活用
- ・出来るだけ減らしたい
 - ・FAXでのやり取りは送信先間違い等もあり、メールのやり取りの方が間違いも少なく、ペーパーレスになるかと思うのですが…

セミナーの感想、ご意見、ご要望

- ・雑音が、気になります。
- ・音声聞き取りにくい事がありました。
- ・河野先生の講義で救われた感じがします。ありがとうございました。
- ・ケアマネに望むことのなかの エールの一言で元気をいただきました。
- ・自分のミスで始めの講演が途中からになったので悔やまれる
- ・追加の資料を後日いただけるととの事で安心しました。サービス事業所からケアマネに対する考えも知ることができて良かったです。
- ・ありがとうございました。行政の方からの説明を聞ける機会は、ありがたいです。ケアマネジャーとして仕事をしていく上で、これでいいのだろうか？と不安に思いながら、業務に流されています。これからはよろしく願いいたします。
- ・実地指導について核心に触れる回答があまりなかったのが残念。質問:ケアプランチェックとはどこまでの帳票をチェックされるのか具体的に知りたい。自己点検シートで問題がなかった事業所は実施指導がないのかどうなのかと言うところが理解しにくかった。よろしく願い致します。ケアマネへのエールは良かったです！ありがとうございました。
- ・予定時間より早く終わったので残念です
- ・質問→回答のスタイルなので致し方ありませんが、どうしても一方通行な感じがしてしまいました。ケアマネは行政と対話したいし、現場レベルで起きている様々な課題について、ともに考え、より良くしていく取り組みができればと思いました。
- ・セミナーで必要な書類を事前ダウンロードしなければならない場合予期しないトラブルで前日に用意が出来ず当日に慌てて取るような事もあり、2~3日前に準備が出来るなら余裕を持つこと出来るのでありがたいです
- ・これからの業務に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・確認ですが、2.実地指導関係Q&A 追加⑥で、利用割合の利用者への配布を年2回と回答ありましたが、厚労省のQ&Aでは契約時の配布のみで良かったのではないのでしょうか。
- ・参加させていただきありがとうございました。
- ・河野氏のCM向け、エールだけよりも具体的なご意見頂けた方が良かったな。
- ・医療サービスを導入の際等具体的な注意点等今後のサービス実施に向けたQ&Aが欲しい。
- ・保険者の意見を生で聞くことができるのでとても貴重な研修だと思っています。今後も継続して実施していただきたいと思います。第1部の横矢係長の話の中で、追加質問の6番目 利用割合6か月毎の話がよく聞こえなかったのですが、初回に説明すれば6か月毎に説明は必要ないと理解していましたがそれで良いのでしょうか。
- ・第一部では、ご質問者の意図と回答される介護保険課ご担当者の視点の方向が違っているように思える箇所がありました。例えば質問①は電子化やExcelなどのシートを活用すれば一箇所に住所を入力すれば、他のシートにも全く同じ住所が反映されます。そのような電子化による申請の効率化と、手書きを続け証書を添付することを求める受理側とは、未だに平行線を歩んでいるように思いました。また、質問③のような導入時の手続きの時間とは、介護保険的に言えば作業するケアマネの「手間」のことと思いますが、回答はやりとりの「物理的な時間の経過」だけを指しておられるようで、この点でも立場の違いが際立ち、お互いの事情を知る機会になっていないように思いました。質問④では、特定事業所加算の分配状況を調査されているのか、結果はどのような状況なのかを質問者は確認されていると思います。回答ではその調査を行っているのか否かもわからない上に、行っても開示することがないように聞こえました。第二部は地域包括ケアシステムがコロナ禍で後退気味の折から、頂いた声を互いの関係性を高めるために活用していくことが大切だと思えました。ピラミッドの頂でも、サークルの中心でもなく、多職種連携、地域連携の一担当者として役割を果たしていけるように、今後のセミナーへの展開を期待したいと思います。
- ・もう少し内容が深いものが良かったです。
- ・新人の私には分かり辛い所がありました

- ・エールが、励みになりました。
 - ・ケアプランチェックについての研修や課題分析の書き方、BCP作成についての研修を今後していただきたい。
 - ・回答になってなかった。ケアマネ業務ご理解されていない 件数を多く持たないと事業所の存続に関わる。一人の利用者にどれだけの時間費やすか ペーパー処理が多すぎです。
 - ・指定されていた方法ではZOOMに参加できず同事業所内ほとんどの職員が冒頭部分を見逃してしまった。確実に参加できるようにして欲しい
 - ・事前の質問内容は、知りたいけどなかなか聞けないことがたくさんありました。ZOOMでの実際の解説でもう少し内容を深掘したり解説が聞きたかったです。声が割れて聞こえにくかったです。
 - ・事業所割合状況等についてですが、半年毎に利用者全員に配布すること。のようにとらえたのですが、その通りでしょうか。
 - ・知りたかったことで聞けたこともあるが、書面を読めばわかる内容もあったので、書面ではわからない内容のことを教えてほしい。
 - ・気になる点等のことは回答頂き納得した部分もありました。実地指導についての内容の話が薄くもっと詳しく知りたかったです。
 - ・質問:介護指導課指導監査 横矢様のご説明が聞き取れなかったので確認です。
 - ①利用割合の説明と署名についてですが、利用開始にかかる説明だけではなく、すでにサービスを利用されている利用者様に対しても年に2回継続的に、利用割合の説明と署名が必要という理解でよろしいのでしょうか？
 - ②実地指導における自己点検シート提出後、音沙汰が無いのですが、行政側より実地指導の有無のご返答は頂けるのでしょうか？
- 感想:第1部、2部とももう少し踏み込んだ内容を伺いたかったです。

①の質問に対する回答

→監査指導部(介護保険サービス・法人指導監査担当)

国通知では、

「前6か月間については、毎年度2回、次の期間における当該事業所において作成された
居宅サービス計画を対象とする

①前期(3月1日から8月末日)

②後期(9月1日から2月末日)」

とされおり、対象期間ごとに年2回必要です。

※参考:赤本P.840

【運営側の感想】

初めてのオンラインセミナーで運営側も不慣れなため、なんとか無事に終わられたというのが正直な感想です。オンラインに慣れておられないケアマネジャーも一定数あり、zoomのアドレスの送信が遅くなり、zoomに入れなかった方もありご迷惑をおかけしました。今後はもう少し早いタイミングでアドレスを送信するように注意いたします。

会費の徴収にもかなりの手間がかかるため、徴収方法についても検討いただきたく

非会員は無料でも良いのでしょうか?条件があるのであればご教示いただきたくお願いいたします。

今後、オンラインセミナー開催が多くなると予測されますので、シル連のパソコンを3台ほどご準備いただき貸し出しいただくと円滑に進行できると感じます。

よろしくお願いたします。